

(別紙4(2))

事業所名 すこやかほ～む桜坂

作成日： 令和 5 年 2 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルス感染症対策の為、書面で報告を行っている。コロナ収束後は、参加委員の増員を図り、テーマを決めて開催する等、会議内容の充実に向けて検討し、取り組んでいく。	地域代表の他にも、薬剤師や歯科衛生士、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬や口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の課題などの解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を実施しているが、ホームが3階と4階に位置していることから、特に職員がユニット1名になる夜間想定訓練を繰り返し行い、いざという時に落ち着いて行動できるよう備えていく。	利用者を巻き込まず、職員同士で行う夜間想定訓練を繰り返し実施して、夜勤者が慌てずに行動できるよう備えていく。	12ヶ月
3	2	事業所と地域とのつきあい	コロナ禍の中での開設で、地域交流はこれからである。コロナ収束後の地域交流に向けて、今できることに少しずつ取り組んでいく。	2階にある地域交流室を開放し、町内会の会合に利用してもらったり、認知症カフェの開催や、同一建物内にある障がい者デイサービスとの交流に活用する等、コロナ収束後に向けた準備を進めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。